

新善光寺寺報 北 縁

2018年1月

Vol. 37

# ほくえん



三輪高英

## 年頭所感

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新善光寺の昨年は、変化の年でございました。北側建物の外壁および内部改修工事とそれにともなう新納骨堂の設置や、宮の沢別院が“清璋寺”と寺号公称をおこない、一つの独立した寺院へと進みました。

昨今は“お寺離れ”“墓じまい”そして“Amazonでの僧侶派遣”などが話題にあがっておりますが、外国人観光客や御朱印を求める方の参拝など以前と比べると様々な方々にお参りいただいているように感じております。

「お寺は敷居が高くて入りづらい」……そのようなイメージを持たれている方もいらっしゃると思いますが、その見えないバリアを無くして、より快適にお参りできるよう、そして皆様のつどえる場所・拠点となるようにしていきたいと思っております。

どうぞ、本年も宜しくお願い申し上げます。

住職 太田 眞琴



本堂：法然上人像の前にて

前列左より	おた しんかい 太田真海(33歳)(副住職)	おた しんきん 太田眞琴(69歳)(住職)	おた こうけん 太田光顯(36歳)(清璋寺住職)	
後列左より	ほりうちかづき 堀内和紀(45歳)	こまき ね きんしょう 駒木根琴生(76歳)	まつ おいつし 松尾一志(82歳)	の ぎきこうし 野崎幸史(67歳)
	そうかわしんしょう 宗川信章(53歳)	たちばなしゅん ぶ 立花 俊輔(37歳)		

## 仏教講座 好評です！

2016年4月から毎月第4土曜日に始めた仏教講座ですが、昨年12月で21回を数えました。内容は主に写経を中心として、それ以外には写仏・腕輪数珠作りなどをおこなっております。また前回12月には「御朱印帳作り」をおこない、ご自身で紙を折り、貼り合わせたりして自作の朱印帳を完成させました。

参加される方の年齢は様々で、小さいお子様もお見受けします。講座の後は新善光寺厳選のお菓子も登場し、なごやかな雰囲気が流れています。是非、ご参加ください。



次回は  
1月27日(土) 午後2時開始  
参加費 500円  
以降は毎月第4土曜日午後2時です  
(詳しくは別紙の行事予定表参照)

## 新善光寺の SNS をご存じですか？

年3回の寺報だけでは伝えきれない情報を各種 SNS (ブログ・ツイッター・フェイスブック) でお知らせしております。

また、ホームページにメールでの問い合わせフォームがありますので、疑問に思ったことや質問など、またご法事の受付なども対応しております。是非、ご活用ください。

## アンケートにご協力ください

今回から若干質問内容を変えてみました。是非ともご協力をお願いいたします。ご回答いただいた方には「粗品」を進呈いたします。

## 宮の沢別院から清瑋寺へ

### 清瑋寺 晋山式のご報告

平成 29 年 10 月 8 日、西縁山清瑋寺にて晋山式が執り行われました。

清瑋寺は平成 19 年に新善光寺宮の沢別院として建立し、10 年目の節目に浄土宗より清瑋寺と寺院名を変え活動することの許可を受けました。そしてこの度、別院の主管でありました太田光顯が清瑋寺新住職として晋山式の日を迎えることができました。



〒 006-0005  
札幌市手稲区西宮の沢 5 条 1 丁目 19-35  
TEL : 011-668-5110 FAX : 011-668-5111

しんざんしき  
(晋山式とは、寺院に新たに命を受けた僧がその寺院に晋む(進む)ことを意味し、寺院を山ともいうため、「山に晋む式」「晋山式」といいます。)



清瑋寺新住職としての責任の重いことを恐れるものではありますが、法燈護持に全力を注ぐ決意でございます。新たな使命が始まったのだということを十分認識し、寺檀一体となって寺院護持の為に精進いたす所存でございます。

また、これからも念仏道場の場として、檀信徒並びに地域の方々に親しみのあるお寺を目指してまいりますので、お近くにお寄りの際には是非お参りにお越しく下さい。

今後とも新善光寺別院 清瑋寺をどうぞよろしくお願いたします。



清瑋寺 新住職 太田 光顯

式当日は、天候にも恵まれ予定していたお練り行列も無事に行うことができ、本堂内での儀式においても厳粛かつ盛大に挙行することができました。



### 2018年スケジュール

3月18日(日) 春彼岸法要 / 8月11日(土) お盆法要 / 9月24日(月) 秋彼岸法要

## 新納骨堂 好評です！

昨年9月に完成した新納骨堂ですが、おかげさまで沢山のお申込を受けております。  
札幌市から納骨堂増設の変更許可を受け、中央に安置している十一面観音菩薩の  
開眼式（魂入れ）を明照婦人会の会員様ご参列のもと、厳粛にとりおこないました。



新納骨堂



開眼式の様子

新納骨堂は様々なケースに対応いたしておりまして、今までの事例を紹介いたします。

- ・お墓じまいをして、入っていたお骨をまとめて納めた方
- ・従来ある地下納骨堂から移された方
- ・生前に求められた方

実際にご覧いただいた方からは「あたたかい」「きれい」「明るい」とのお声をいただいております。また、エレベーターがついておりますので、車イスでのお参りも比較的容易におこなえます。

窓から見える中庭から四季折々の風景を感じられ、床は石張りとはかのどこにもない納骨堂です。

ご見学は随時受け付けております。どうぞ、お気軽にお問い合わせください。



一段型は12霊位様まで収蔵可能



手前は2段型・奥は5段型



このようにお飾りすることもできます

TEL. 011-511-0262 (担当：副住職まで)

## お参りについて ~色々な供養の仕方~

お参りの種類はざっと分けて

月命日・祥月命日・葬儀・法事（一周忌・三回忌など）・彼岸・お盆など

があります。

今回は「月命日」を紹介したいと思います。

月命日のお参りとはその名の通り、亡くなった日（1月1日であれば毎月1日）にお参りすることで、僧侶がご自宅へと伺い、お仏壇の前で読経をします。

時間は柔軟に対応いたしますし、命日前の土曜・日曜日におこなう方もおられます。

また、新善光寺納骨壇の前や納骨壇をお持ちでない方は位牌や過去帳ご持参のもと仏間にて読経することも可能です。

お参りの申込は電話またはメール（ホームページのお問い合わせフォームから）にて受け付けております。



### 〈ご葬儀について〉

昨年10月に婦人会の会員でもございました里村輝子様のご逝去され、新善光寺2階でご葬儀をあげられました。



昨今は各地区に斎場ができ、そちらでおこなうことが増えてまいりましたが、新善光寺は市内中心地に近く地下鉄の駅からすぐという立地であり、お寺でのご葬儀をすすめております。

エレベーター・冷暖房完備で宿泊することも可能で会葬者の人数に合わせてお部屋をお使いいただけます。ご出棺の際は鐘をならし、お寺ならではの送迎をいたします。

ご相談は随時受け付けております。

ズッコケ尼さんの仏教こぼれ話⑱

## 〈ばあばの願い〉

こまきね きんしょう  
駒木根 琴生



皆さんおめでとうございます。佳き年をお迎への事とお慶び申します。寺報を書かせて頂いて18回目になります。よく「いつも読んでいますよ」と嬉しい声。特に私同様に子を亡くした方からの声には励まされます。39歳の時に息子を送った母も満76歳になり、すっかり迷惑を掛け通しである。

「人間は老年となり老醜の惨めさを味わねばならないが、梅は年を重ねて美に深みを増す」という画家・小倉遊亀氏の言葉がある。新年に馴染み深い梅は、老木になるほど枝を伸ばし、若芽が増え、盛花を咲き誇る。一方、人間は加齢に伴う老化には逆らえないようだ。

私はほとんど自分で運転して車生活中心なので公の交通機関はめったに利用しない。しかし、冬期間は別である。12月初め、吹雪のその日だった。私は一週間の内、火・木・土曜日にお寺に行っておりその火曜日、家から5分程のバス停発7時10分に乗り込む。早朝のその時間は、通勤通学で満席だ。幸い5席の優先席の1席に座れた。しばらくして私と同年齢位の女性が乗ってきた。すぐに席を譲ろうと、一人の高校生が立ち上がった。孫と同年代の彼に、偉いなあという思いで見れていた。ところが、女性はずり革につかまったまま座ろうとしない。それで彼は、「どうぞ」と声をかけたが、その言葉にも「本当にいいんです」と頑なな態度の彼女。見ていた私も含め、車内に気まずい空気が流れた。次の停留所・西高前で彼は下りた。一方、女性は立ったまま私と同じ地下鉄まで一緒だった。お寺までの道のり、彼女の心に思いを馳せた。私だったら…と思った。

日曜日ごとに夕食に来る高校生の孫にこの話を聞かせた。すると、座らないおばちゃん悪いわ…という答えが返ってきた。先の言葉通り、年老いてゆくことに逆らわずに素直に座らせてもらったほうが良いのかと考えさせられた。

昨年も表現し難い事件が続き、心が痛い。今のような現実社会を孫たちに届けてしまった大人のひとりとして「今の若い人は…」という批判めいた発言をしないように気をつけている。今後ますます高齢化社会となり、百歳時代も当たり前になる。席を譲ってくれる若者がいる限り、明るい未来が巡ってくると信じたい。

高校二年・中学二年の孫たちと次男夫婦が、我が家の仏間に集い恒例のお勤めを終えると、おせち料理がはじまる。楽しみはその後のトランプである。三世代の輪の歓声が、除夜の鐘を貫いた。ゴォーン！ ゴォーン！



ぼんのう ひゃくはちへ けさ はる  
煩惱は 百八減って 今朝の春



## 置かれた場所で咲かれた法然上人

『置かれた場所で咲きなさい』というご本があります。これは、カトリックのシスターであられた渡辺和子（1927～2016）さんの著書です。渡辺さんは9歳の時、不慮の事件で父を失います。その事件は、のちに二・二六事件といわれるものでした。また、浄土宗の宗祖でありお念仏の元祖である法然上人（1133～1212）も9歳の時、政治的な争いから襲撃され、父は負傷し命を落としています。お二人とも、同じ年頃で父の死を目の当たりにし、しかもその状況は人が人を傷つけ合うというすさまじい惨状だったのです。そんなお二人が、多くの人を癒し、本当の幸せとはなにかということを教えてくださる宗教者になられたことは、カトリックと浄土宗という宗門（セクト）の違いこそあれ、共通の尊さを感じます。

私たちが生きていく上で、“こんなはずじゃなかった”と思うことがあります。上り坂、下り坂、時には“まさか”という坂に私たちは遭遇します。「置かれた場所で咲く」ということは、自身がその時その時に置かれた状況の中で、それを嘆いたり悲しんだりしているだけでなく、またその状況から逃げたりするのではなく、その置かれたところで咲くことです。しおれていたほうがどんなにか楽なこともあります。しかし、その置かれた現状は自らが咲かなければ何も変わりません。咲くということは、自身が幸せになり、他者をも幸せにすることです。周囲に私は幸せなのだと示して生きることなのです。このようにシスター渡辺和子さんは、教えてくれています。

ところで、法然上人が75歳の時、上人の身に大変な災難がふりかかります。前年に弟子の住蓮と安樂の二人が刑死し、時の朝廷によりお念仏を称えることが禁止されました。そして、法然上人は四国への流罪が言いわたされました。その時、弟子が、「一時的にお念仏を称えることを止め、教えを広めずに、ほとぼりが冷めるまで静かにしてしましましょう。そのことを朝廷に進言して、流罪を免れましましょう。」と言いました。しかし、法然上人は、首をたてにふりませんでした。「私は今80歳が目の前です。たとえ、このまま都に住もうとも、この世の別れは近い…。しかし、浄土での再会は疑いがないのです。惜しいことですけれども、死ぬからこそ人の命なのです…。それから、お念仏の教えを都から離れたところに広める良い機会です。これは、朝廷の恩恵だと私法然は頂いております。この教えが広まっていくことは、誰も止めることができないのです。仏さまが我々を救ってくださる御心が深いからこそです。ですから、どうして世間の顔色をうかがって、お釈迦さまがお説きくださった阿弥陀さまの真意を述べないということができましよう。」さらに法然上人は、「私がつたとえ死刑になっても、お念仏を申さないということにはできないのです。」と…。偽りのない透明な法然上人の姿に、そこにいた皆が涙したとのことです。

その後、法然上人は、都をあとに、鳥羽伏見から川船に乗って、摂津の国・現在の兵庫県に入りました。その旅の途中、法然上人は多くの人と出会い、共にお念仏の御教えを喜び合いました。まさに、法然上人は、置かれた場所で咲かれた方だと拝します。

〈文：立花俊輔〉



門弟ら、流罪の報を聞き、法然上人のもとに集う（当山蔵法然上人絵伝より）

シリーズ 仏事のおはなし

お勤めのはなし ⑮

「お勤めのはなし」も今回で早くも15回目となります。日常のお勤めのはなしも、掘り下げてお話するとなかなか長くなってしまいます。ここで少しおさらいをしましょう。

日常のお勤めは「日常勤行」といい、それぞれ経典より抜粋した文言を組み立ててお称えしていきます。この組み立てたものを「次第」といい、次第は大きく三つに分かれます。つまり「序分→正宗分→流通分」という三つの部分に分かれ流れが構成されています。

序分は「香偈」から「懺悔偈」までです。序分では身を浄め、三宝（仏・法・僧）を敬い、仏菩薩を勧請（おむかえ）します。さらには、今のわが身を反省した上で経典を読誦する準備をします。「開経偈」ではじまる正宗分は、「所依経典」である「浄土三部経」を読誦し、その功德は様々な回向文によって手向けます。そして、前回までに「念仏一会」までお話しました。今回は、正宗分の最後となる「総回向偈」のおはなしです。

・ 総回向偈

前述の通り、「総回向偈」は日常勤行の中でも、その主旨を述べる部分である「正宗分」の最後の偈文となります。前回の「念仏一会」では、浄土宗の根幹の行である「称名念仏」をしっかりと称えしていくところだ、というお話でした。そもそも「南無阿弥陀仏」は、「阿弥陀さまにすべておまかせします」という意味になりますが、そのお念仏の功德をあらゆる人々に手向けるといふ意味の偈文がこの総回向偈になります。

では、偈文と鈴の打つ箇所を右図に示します。

書き下しにすると「願わくは此の功德を以て 平等一切に施し 同じく菩提心を発して 安楽国に往生せん」となります。意識すると「願うところは、修したお念仏の功德を生きとし生けるものに手向け、そして分かち合い、皆共々にさとりを求める心をおこして安楽国と呼ばれる西方極楽浄土に往生することです。」という感じになります。

● がん に し く どく ● びょう どう せ いっ さい  
願 以 此 功 徳 平 等 施 一 切  
どう ほつ ぼ だい しん おう じょう あん らっ こく  
同 発 菩 提 心 往 生 安 楽 国

● : 鳴らしものの打つ場所を指します。

### ・平等に施すとは

浄土宗では「お念仏をお称えする」ことこそ教えの根幹であり、称名念仏こそが正しい実践項目であるということは今までのおはなしのとおりです。お念仏する人は、阿弥陀さまのお慈悲によって極楽世界に救われるのですが、この偈文では、「称えたものだけでなく、その功德をすべてに手向け、共に往生を願う」というところにポイントがあります。

お話は変わりますが、筆者が子供の時は、何かイタズラや危ない行為をすると親だけでなく近所のおじさんやおばさんにも叱られたという思い出があります。地域で子供を守り育てるという空気があったのでしょうか。しかし、最近では価値観の違いから近隣とのトラブルも起こりうるからでしょう、そういう話もあまり聞かなくなりました。地域のつながりをはじめとする様々なつながりが希薄となってきている現代においては、個人主義が台頭し、「もちつもたれつ」といった言葉が聞かれない世の中になっている気がします。

阿弥陀さまのお慈悲が全ての人々に対するものであるように、お念仏の功德を一人だけで享受することなく、全ての人と共有する心もちが大切なのだと思います。私たちが生きていく上でこのことを心がけていけば、きっと後世に慈愛あふれる社会を残すことができるでしょう。どうか、そんな気持ちを込めてこの総回向偈を称えてみてください。

次回からは、お勤めの後半、「<sup>るづぶん</sup>流通分」に入っていきます。

## 札幌市<sup>とうじゅえん</sup>稲寿園在宅介護サービス部門のご紹介

札幌市稲寿園は昭和47年に札幌市が建設した特別養護老人ホームです。札幌慈啓会が開設当初から運営を託され、現在は指定管理者として管理運営にあっております。平成6年に施設が全面改築されたのを機



に、施設内に在宅介護支援センター（現在は介護総合相談センター）、デイサービス、訪問介護の各事業所を開設し、在宅での介護を希望される方々にも“和顔愛語”の精神で、心のこもったサービスが提供できるよう努めてまいりました。

周辺地域は戸建て住宅が多く高齢化が進んでおり、また、家族構成や介護に至る事情も多様で、それぞれニーズに合ったサービスが求められる状況です。一方、国では、いわゆる“団塊の世代”が75歳以上となる2025年を見据えて、医療や介護の需要の高まりに対応できるよう、地域内で住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。

このような状況から、札幌市稲寿園では5年ほど前から、まずサービスの入口となる介護総合相談センターの相談機能強化を図ると共に、提供する各種サービスの質の向上に取り組んでまいりました。

例えばデイサービスではご要望の強い専門職による機能訓練を取り入れ、訪問介護では入浴介助など介護度の上昇に対応したサービス強化を図っています。また、特別養護老人ホームに併設された短期入所サービスでは、ご利用者様に認知症の重い方が増えていることもあり、安心してサービスが受けられるよう、“コンシェルジュ”のような専任職員を配置するなどの工夫を取り入れています。

今後も益々、在宅介護のニーズは高まることが予想され、優秀な介護スタッフの確保・育成に努めながら、地域の皆様から信頼され安心してご利用いただけるサービスの提供に心がけてまいります。手稲区のほか石狩市など近隣にお住まいの方で、在宅介護サービスの利用を検討される場合は、どうぞお気軽に以下の窓口にご相談ください。



デイサービス 機能訓練の様子



デイサービス レクリエーションの様子



ショートステイ利用居室

介護に関する  
各種ご相談の  
窓口

札幌市稲寿園介護総合相談センター

TEL. 011-684-6110

社会福祉法人札幌慈啓会 特別養護老人ホーム札幌市稲寿園

〒006-0835 札幌市手稲区曙5条2丁目2-21

TEL. 011-682-2160

— お檀家タウンページ ～ともいき訪問⑬—

## たつみキッチン

美味しい料理とお酒を楽しめるカジュアルイタリアン

今回は地下鉄東西線「菊水」駅すぐのビル2階にあるイタリアンレストランに行ってきました。オーナーシェフの辰巳裕一さんは大阪出身、マダムの美和子さんは札幌出身で、美和子さんの実家である松宮家は古くから新善光寺とのご縁が続いております。余談ですが、弟の松宮勇市さんは副住職と大学が一緒で、また部活（アメリカンフットボール部）も同じというありがたいご縁もあります。

青いテントが目印の階段を上がり入った店内には、デザイナーが設計した素敵な空間が広がり、ご夫婦の沢山のこだわりが詰まっております。メニュー表は写真入りで料理の説明などが丁寧に書かれており、あれやこれやと選ぶのが楽しいです。ランチはパスタセット（サラダ・ドリンク付き）がおすすめで、昼飲みをする方もいらっしゃるとか。ディナーはピッツアやアヒージョ、お肉料理などがあり色々な味が楽しめます。ドリンクも充実しておりボトルワインも豊富です。また、ビールの泡のきめ細やかさは特筆すべきです。そのほかノンアルコールではイタリアンのスパークリングジュースもあり目にも鮮やかです。

食材にもこだわり、北海道各地から取り寄せた野菜は甘味がたっぷりです。取材に伺ったときはパスタとピッツアをいただきまして、どれも美味しくボリュームもたっぷりでした。お一人様やご夫婦・ご家族でのお食事、会社や友人の集まりでの利用が多いようです。



イタリアンソーダ



デザートも充実



子ども連れでも大丈夫、パスタはもちもちで中のキャベツは甘みたっぷり



ディナーでは一品料理も豊富



### たつみキッチン

札幌市白石区菊水3条2丁目6-20 多田ビル2F  
TEL. 011-799-4241 HP: <http://tatsumi.biz/>



#### 【ランチタイム】

11:30 ~ 14:30 (14:00 LO)

#### 【ディナータイム】

17:30 ~ 21:30 (21:00 LO)

【定休日】水曜日終日・木曜日のランチタイム、他不定休あり

お寺の掛軸を紹介します⑨

## 15 新善光寺蔵 法然上人絵伝 第三幅

四幅にわたる法然上人（1133～1212）のご生涯を描いた掛軸があります。下図は、その三幅目の中ほどにある絵です。おそらく、この場面は法然上人が60代後半の出来事だと推察されます。弟子の聖光房や安楽房らと浄土の御教えについてお話しされていました。自己中心的なあり方をして常に迷い悩む私たちが、真実のやすらぎを得ることができるのでしょうか、という切実な会話になりました。法然上人は、善導大師がお示しくださった阿弥陀さまのお誓いのおまに念仏する御教えに会わなければ、私たちが本当の幸せに到ることはないでしょう……、と涙ながらに語りました。そこにいた弟子たちも共に深く感動し、目頭を熱くしました。



## 衣食住の三は 念仏の助業なり

(禅勝房伝説の詞)

念仏の助業なり

衣食住の三は

この寺報と一緒に同封している標語ポスターについて解説します。このご法語は法然上人が禅勝房（1174～1258）に話した言葉です。

自己中心的あり方をし常に思い悩む私たちが、阿弥陀さまのやさしさを感じたとき、お念仏が声となります。救いようのない私たちが、阿弥陀さまによって救われてゆく……。阿弥陀さまがいてくれて本当によかった……と気づいたとき、私たちの身を育む衣食住が脇役になり、お念仏が主役の生き方へとなるのです。

## 北縁 なんでも Q & A

いつもご投稿ありがとうございます。今までのご投稿の中では、約9割が寺報全体の感想について、「大変良かった」「良かった」という評価をいただいている結果となっております。この評価に値する記事の内容を今後とも模索し、より良い寺報にすべく精進していきたいと思っております。

ご質問、ご感想も随時募集していますのでよろしくお願ひします。

### Q お寺の名前の上に「〇〇山」というのが必ず付くのは何の意味があるのでしょうか。

A 「〇〇山」というのは「山号」と呼ばれる称号です。これは、お寺が山中に建立されることが多かったため、その山名を称号として付けたという由来があります。また、お釈迦様が「靈鷲山」という場所で説法されたことに由来するともいわれています。現在は街中に寺院が建立されることが多いので、なぜ「山」？と思われるのが当然とは思いますが、上記の由来縁起があつて基本的にはどのお寺も山号を持っています。

また、お寺は山号の他に「院号」という称号もあり、これは元々皇族が出家し、住職として入寺したお寺（門跡寺院と呼ばれます）に付けられた称号です。現在は厳密な決まりがないので、一般的に「山号 院号 寺号」の三つの称号をもって、寺院の正式名称としています。

新善光寺は「北縁山 廣度院 新善光寺」が正式名称ですが、これは東京の大本山 増上寺の特命開教師が新善光寺を開基したことに由来しています。増上寺の正式名称は「三縁山 廣度院 増上寺」で、院号に関しては増上寺と同じ院号となっています。

### Q 永代供養料、ならびに永代供養をお願いした後の納骨堂管理費や護持費について教えてください。

A 永代供養とは永代祠堂ともいい、お寺に永代にわたり精霊さまをお祀りして、ご供養することです。ご供養の継承が難しい方、又はご供養を継承できても有縁の寺院にお祀りし、ご供養してもらいたい方がお申込みになります。

さて、永代供養に関わる経費は寺院によって様々です。納骨堂管理費はこれとは別の考え方で、あくまでも遺骨を収蔵する場所の維持管理をしていくための経費としてお願いしていますので、永代供養を申し込んだとしても、納入をお願いするものです。しかし、供養の継承が出来ない理由で永代供養を申し込む方がほとんどなので、納骨堂の維持管理にも関係してきます。その場合は個々のケースによって対応が変わってきますので、お気軽にお問合せください。

また、護持費は納骨堂の管理費とはまた意味が異なり、これは寺門の維持のためにお寺にご縁のあるすべての方にお願ひしているものです。永代供養をお申込みになった後にご協力をお願いする費用となっています。

### タイからのお坊さんが

12月のとある日、タイの僧侶の方々が新善光寺を訪れました。お一人は群馬にある寺院から、あとの4名はタイのワット・トライミット寺院から来られたようです。丁寧にお参りをされていき、また少しお話しすることもできました。スマートフォンを使いこなしており、現地の寺院の写真なども拝見させていただきました。



### 東京便り

東京都品川区に新善光寺の東京別院「霊源寺」があります。僧侶が常駐しており、また春秋彼岸法要には住職や副住職がお参りに行っております。霊源寺での法事・葬儀、またご自宅への月命日やお盆参りも承っておりますのでご希望される方はお問い合わせください。

### 編集後記

明けましておめでとうございます。  
前号こちらの欄で子どもが生まれたと書いたところ、多くのお祝いの言葉を頂戴いたしました。おかげさまで無事に大きく成長しております。  
この「ほくえん」も37号目、皆様からのご意見を参考に試行錯誤を繰り返し、歩みは遅いかもかもしれませんが着実に成長しているのではないかと考えております。  
どうぞ、本年もよろしく願いたします。

(太田真海)

新善光寺 検索